



国体三重県代表の強化合宿にて
 1. 練習中はたびたび笑顔を見せて楽しそうに取り組む姿も 2. 弱点はコミュニケーション能力と話す岩野さん。チームメイトに積極的に話かけていました 3. 得意のディフェンスでは、ゴール前で世界のトップ選手に立ちあがる

Profile

生年月日：1999年8月6日
 出身：大安町
 経歴：暁中学校→秀明英光高等学校（埼玉県）→秀明大学（千葉県）
 高校1年生のときに日本代表に選ばれ、アジアジュニアに出場。今年6月にはユニバーシアードに出場し、世界6位入賞。

水球をはじめたきっかけは

小学校1年生のとき、兄が出場する水球の試合に応援へ行き、プレーする姿を見てかっこいいと感じました。その後、自分から水球を始めたいとお願いして、三重ウォーターポロスターズに加入しました。

高校へ進学するとき、薬剤師の夢を追って地元に残るか、関東の強豪校で水球を続けるのか悩みました。家族から「水球の実力を認めてもらっているから挑戦したら良い」という後押しをもらい挑戦することを決めました。

プレイヤーとして

日本人の女子選手の中では身長も高く、ゴール前で相手の攻撃を止めるディフェンス力が私の武器です。また相手の攻撃の流れを予測する力にも自信があります。水球はチームスポーツなのでコミュニケーション能力をもっと高めてレベルアップしたいです。

日本代表に対する思いは

最初に日本代表に招集されたのは高校1年生でした。当時は日本代表ということは全く考えていなかったの、自分が選ばれたときにはびっくりしました。

2020年が東京オリンピックということで、活躍している姿を祖父母に直接見せられるチャンスだと思い、頑張っています。国際大会に出場していても、日本代表のメンバー入りが決まったわけではないので、気持ちを緩めずに、日々の積み重ねを大切にしていきたいです。

岩野さんにとっていなべ市とは

高校から県外に出て水球に取り組んできたため、私にとっていなべ市は水球から少しの間だけ離れることが出来る場所です。

今は年末年始しか帰省する機会がないですが、帰ってくると安心して、ゆっくりした時間が過ごせます。

水球の将来について

大学で小中学生を対象に水球教室を開いています。マイナーなスポーツなので、もっと若い世代に広めていきたいです。三重県では私が小学生のころよりチームが増えていたので驚きました。

世界で活躍できる選手を輩出しようと三重県が強化指定している「チームみえスーパージュニア」に選ばれた岩野さん。

9月には世界ジュニア選手権も控えていて、今後の活躍から目が離せません。



水球 *Water Polo*

岩野 夏帆
 IWANO KAHO